

目次

1. ごあいさつ
2. ECG(英会話の集い)の報告 4月20日(土) ”Tea Ceremony in English”
3. 2019年度CWAJ奨学生のご紹介
4. 2020年度CWAJ視覚障害学生奨学金のお知らせ
5. ハンズ・オン・アートと第63回CWAJ現代版画展のご案内
6. 編集後記

CWAJ = College Women's Association of Japan VVI = Volunteers for the Visually Impaired (視覚障がい者との交流の会) ECG=English Conversation Gathering (英会話の集い) SVI=Scholarship for the Visually Impaired (視覚障害学生奨学金)

★1. ごあいさつ

令和元年になり、皆様、如何お過ごしでしょうか。4月に行われた ECG は一大イベントの茶道で大変な人気でしたが、今回はそのご報告をお届けします。茶道で用いた道具などに英単語を添えました。皆様が学んだ英語をもう一度思い出せるように、工夫してあります。

今年も CWAJ 奨学生が発表されましたが、そのうちの 2 名は視覚障害者の大学生と大学院生でした。ピチピチの奨学生の誕生です。皆様で応援しましょう。秋の版画展に向けて、CWAJ 会員はいよいよ忙しい時期を迎えようとしております。「視覚障害者と楽しむアート」として発足した Hands-on Art も今年は 23 年目を迎えますが、こちらも年々人気を博しております。HOA で使用する立体コピーは完成に向けて、最終ダッシュで頑張っております。ご案内をお届けいたしますので、ご参加お待ちいたします。それでは、皆様、Newsletter を読んで、英語に触れて、CWAJ のイベントに参加して、CWAJ のメンバーと交流して、これからも楽しく頑張りましょう！

★2. English Conversation Gathering (ECG)

英語で茶道 Tea Ceremony in English

皆様お元気にお過ごしのことと思います。

CWAJ 設立 70 周年を迎える今年最初の VVI イベントは、CWAJ ボランティアメンバーによる英語での茶道でした。2020 オリンピック・パラリンピックを目前に、訪日外国人の数も、うなぎのぼり。そこで今回はいつもと趣向を変えて、日本の伝統文化である茶道の歴史や作法を英語で体験しました。日本人として自国の文化を外国の人に英語で説明できたら素敵ですよ。

「英語で茶道」は 4 月 20 日土曜日 国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟の和室で行われました。

お知らせを送った瞬間から申し込みが殺到しました。国立オリンピックセンターの和室は定員があり、人数制限をしなくてはならなかったことが残念ですが、26人のVIのみなさま、ガイド12人、CWAJ ボランティア13人、関真澄(せき ますみ)先生とアシスタントの皆様9人、計60人が参加しました。ウェイティングリストになって参加できなかった皆さん、ごめんなさい。

「英語で茶道」は CWAJ の会員でもある裏千家の関 真澄先生がご指導くださいました。茶道の歴史や意味、作法の説明が英語で行われました。また真澄先生のお弟子さんでアメリカ人のシンシア志村さんが「英語で俳句(Haiku poem)」も行いました。シンシアはスカイブルーの美しい着物をまるで日本人のように上手に着ていました。

茶道の歴史 History of Tea Ceremony

お茶は禅僧(Zen Priest)によって仏教とともに中国から日本に持ち帰られ広まりました。お茶は禅寺で僧侶が座禅の前に精神を集中するために飲まれていましたが、その後体調不良を癒すなどの効能を将軍源実朝に認められ、次第に鎌倉武士社会に浸透していきました。

茶室は武士の書院造建築の中でのものから、千利休ら茶人が好んだ田舎の家の、手をかけていない感じをよしとする様式になっていきました。茶道具も贅沢を脱して、省略した素朴なもの「侘び茶(wabicha or rustic and serene tea style)」という感覚が生まれていきました。

茶室 Tea Room・茶道具 Tea utensils

茶室には床の間(alcove)があり、そこにはその日の正客(main guest)にふさわしい季節を表す掛け軸(hanging scroll)と庭から摘んできた花が生けられます。

この日は真澄先生のお弟子さんがご自分のお庭から摘んできた都忘れ、ナナカマド、ヤマブキが生けられていました。

掛け軸は和敬清寂(harmony, respect, purity and tranquility)という茶道の心得の書(calligraphy)がかかれています。

畳の中に切った炉(furnace)は、寒さを感じる11月から4月までのしつらえで、4月のこの日は炉でした。ちなみに、薫風香る5月から10月までは風炉(brazier)が畳の上にしつらえられます。炉には釜(kettle)がかけられ、ぐつぐつとお湯が沸く音が聞こえます。

亡くなった樹木希林さんの映画「日々是好日」のシーンにもありましたが、茶碗にお湯を注ぐ音とお水を注ぐ音は違うのが面白いです。参加したみなさんはお茶をたてたときに(make tea)、この音の違いを聞いていただけでしょうか？

釜からお湯をくむのは竹でできた柄杓(ひしゃく ladle)です。竹でできているので、節(node)が真ん中にあります。抹茶(tea powder)は棗(なつめ tea powder container)に入っています。それを袱紗(ふくさ silk cloth)で清めます。抹茶は茶杓(ちゃしゃく tea scoop)ですくいます。

お点前をいただく前に(before tea is served)お菓子(sweets)をいただきます。この日のお菓子は桜の形のモナカ(cherry blossom shaped bean paste filled wafers), 和三盆(Japanese refined sugar)でした。

お菓子をいただいているあいだに亭主(host)が薄茶(うすちゃ thin tea)を点てます。茶筌(ちゃせん tea whisk)で細かい泡が立つように立てた美しい緑のお茶は、ほんのり甘く苦味があり、甘いお菓子と絶妙なバランスです。よくぞ日本人にうまれけり。

結構なお点前(Thank you for the tea)と書いていただけたでしょうか？

次の企画も是非お楽しみに。Please look forward to our next ECG event!

VVI ECG Coordinator 高橋美都子(たかはし みつこ)

都忘れ(gymnaderia)

花言葉：忘れえぬ人、別離の悲哀

追：参加者からの声(一部抜粋)を載せました。

*今日はとても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。聞きなれない英単語に、少しパニックでした。でも楽しいと思える自分がいて、改めて英語が好きなんだな～と実感しました。少しずつですが、勉強し続けていきたいと思います。日本文化も同様に勉強したいと思います。

*久しぶりに、お抹茶やお菓子が頂けて大変喜んでおります。俳句のお話は少し難しく思いました。残念だったのは、自分の身体がすっかり固くなっていて、最後まで座ることが出来なかったことです。汗

*いつもの ECG とは違う、厳かな雰囲気と素敵な和の世界に魅せられました。VIには茶道は難しいですが、お茶が振る舞われるだけなら楽しめます。(笑)

*「お茶を点てる」が Make tea だとは思ってもみませんでした。とても美味しい薄茶をいただきました。帰り際に、そのままでは苦いので苦みを押さえるために、ほかの御茶とブレンドしていると先生がおっしゃっていました。先生のお気遣いにおもてなしの心を感じました。

★3. 2019 年度 CWAJ 奨学生のご紹介

2019 年、CWAJ は多くの方に支えられながら創立 70 周年を迎えました。創立 70 周年を記念して、今年は海外に留学する日本人女子大学院生(SA)の奨学金支給期間を2年間に延長、2名が選ばれました。日本で学ぶ外国人女子大学院生(NJG)3名、福島県立医科大学で看護学を学ぶ大学生(FRS)2名、日本の大学・大学院で学ぶ視覚障害を持つ学生(SVI)2名には、それぞれ従来通りの1年間の奨学金を授与いたします。

本年度の CWAJ 奨学生に選ばれた 9 名から、まず CWAJ-SVI 奨学生 2 名をご紹介

介します。

松岡琴乃（まつおか ことの）さんは、明治学院大学心理学部教育発達学科特別支援教育コースに在籍する3年生で、障害児や、難病を患った子供の教育について研究をしています。松岡さんは小学生の時1年間の入院生活を送り、院内学級に通いました。家族や友だちから離れて治療・療養生活を送ることには不安や寂しさが伴いますが、病院や院内学級で出会った先生や友人たちとともに過ごした時間はかけがえのない思い出になり、退院して、日常生活に戻った後もずっと心に残りました。この経験を糧に、将来は院内学級の教師となって、病気の子どもたちに喜びや楽しみを与えたい、と考えています。

築島瞬（やなしま しゅん）さんは、首都大学東京都市教養学部都市教養学科理工学系数理科学コースを卒業し、現在は同大学東京大学院理学研究科数理科学専攻博士前期課程に在籍しています。金融分野の諸問題に含まれる不確実な要素を確率論の枠組みでモデル化し、解析する日々を送っています。休講の日も研究室に向かうほど研究漬けの毎日ですが、志は高く、現在している研究を、最近話題の機械学習数理ファイナンスにも応用することができるのでは、と考えています。将来は博士後期課程に進み、更に研鑽を積んで、広い視野と深い専門性を持った研究者になり、社会に貢献したいそうです。

今年のCWAJ奨学生の公式発表は、5月17日にホテルオークラにて開催されたCWAJ創立70周年記念夕食会で執り行われました。松岡さんも築島さんも英語が堪能で、はるばる海外から駆けつけた旧メンバーを含む総勢200名以上が集まった大きな会場でマイクを渡されると、ライトの当たるステージで、流暢な英語であいさつと自己紹介をしました。尚、夕食会には、SVI奨学生OBの弁護士、大胡田誠（おおごだ まこと）さんと、OGで社会人デビューしたばかりの兼子莉李那（かねこ りりな）さんが駆けつけて下さいました。兼子さんは、1972年度第一回奨学生の小玉美意子（こだま みいこ）さんと共に法被を羽織り、大きな木ずちを持って、夕食会の始まりを告げるオープニングの鏡開きをしました。

記念夕食会で紹介された他部門の奨学生たちは、下記の通りです。

マリア・エドワルドナ・エルミロヴァさんはロシア出身で、現在は千葉大学大学院園芸学研究科緑地環境学コース博士課程に在籍しています。地域の女性たちとハーブを育てる経験を通して、共同体の活性化と自然環境保全の両立を実践中で、自然の恵みがもたらす豊かな文化を次世代に継承したい、と考えています。ハナ・ミジャ・シュシェンさんはつくば大学大学院システム情報工学博士課程に在籍するチュニジア出身の研究者ですが、ジャマイカ人の母を持ち、イギリスで育ちました。自身の異文化体験を生かして、外国人が異文化に接し、適応していくプロセスを心理面で研究しています。ギエドレ・ザブラツカイトさんはリトアニア出身で、東京工業大学機械系原子核工学コース博士課程で原子力工学に関する研究を続けています。現在は水素の持つ特質に注目し、放射性物質を自然界へ漏出させない方法を見つけようと、日々実験を重ねています。

左近喜音（さこん しお）さんは、国際基督教大学教養学部アーツ・サイエン

ス学科を卒業、宇宙についての研究をするために米国のペンシルバニア州立大学物理学科博士課程に留学し、将来は社会の化学的リテラシーの向上に貢献したい、と考えています。椎間優子（しいま ゆうこ）さんは小児救急・集中治療の現場で小児科医としての経験を積んできましたが、子どもたちにより安全でより質の高い治療を提供できるよう、英国のブライトンアンドサセックス医科大学医学研究科修士課程で知識を深め、最先端の現場に触れてきたい、と考えています。

今年のFRS2名につきましては、日帰りが難しかったので授業への出席を優先していただき、夏季休講中の9月に東京アメリカンクラブでの昼食会に招待する予定です。お2人とも福島県立医科大学看護学部看護学科に在籍しています。

飯間環（いいま たまき）さんは将来、助産師になりたいと考えています。東日本大震災の直後、被災地の逼迫した状況下で叔母さんの出産に立ち会ったことが将来を考える大きなきっかけとなりました。津川莉奈（つがわ りな）さんは、15歳まで自身と妹以外に子どもがいない村で育ちました。高齢者に見守られて過ごした日々を思い、将来は老人介護の専門看護師になって高齢者を支えたい、と考えています。

創立以来70年、教育支援を最大のミッションとして活動してきたCWAJは、奨学生の皆さんの活躍をお祈りし、未来を切り拓く勇気のある学生さんを支援してゆきたいと思えます。

CWAJ 奨学金委員会コーチェアー

吉村啓子（よしむら けいこ） 渡邊 勲由香（わたなべ ゆか）

★4. 2020年度CWAJ視覚障害学生奨学金のお知らせ

CWAJでは2020年度も下記のように奨学生を募集します。

- ・視覚障害学生海外留学奨学金 1名 300万円
（過去にCWAJ視覚障害学生奨学金を受けられた方でも応募できます）
- ・視覚障害学生奨学金 2名 各150万円

詳細・募集要項などはCWAJウェブサイト <http://cwaj.org/jp> に掲載されておりますので、ぜひお読みください。応募をお待ちしております。

質問などありましたら、scholarship@cwaj.org までお問い合わせください。

★5. ハンズ・オン・アートと第63回CWAJ現代版画展のご案内

ご案内は、まず英語でお読みください。それから詳細を日本語でお知らせします。

The time has come again! The CWAJ Print Show is once again holding the

Hands-on Art Exhibition during our yearly Print Show for 5 days, 3 of which will concentrate on Hands-on Art: October 25th (Friday) to October 27th (Sunday). Mark your calendars now to ensure that you will not miss this exciting, educational event!!

第 63 回 CWAJ 版画展へのお誘い

5 月から真夏日になったり、6 月に 11 月の気温になったり!!ほんとうに不安定な初夏です。皆さんお元気に過ごされていますか？

そんななか、今年も、秋の版画展のための準備が始まっています。今年は 5 人のボランティアが参加して立体コピー制作が進められています。選ばれた 200 点を越える作品のなかから、はっきりした図柄や色の美しさ、多様な技法の作品 5 点を、コーディネーターが選びました。それらの作品は実はけっこう難しい、とボランティアの皆さんにご苦勞をおかけしていますが、点字図書館に助けていただきながら、制作を進めています。

今年の CWAJ 版画展は、10 月 23 日から 27 日まで、昨年同様、代官山にあるヒルサイドテラス・フォーラムで開かれますが、この会期中 25 日からの 3 日間、皆さんをご招待いたします。

東急東横線代官山駅中央口改札口からのガイドの時間は次の通りです。

10 月 25 日(金曜日) 午後 2 時
26 日(土曜日) 午前 11 時、午後 2 時
27 日(日曜日) 午前 11 時

駅からのガイドのお申込みは、10 月 11 日(金曜日)までに、メールで阿部順子 (j-abe@fuji.email.ne.jp) までご連絡ください。

是非今から、皆さんの予定表に入れてください。今年もみなさんのアート鑑賞の機会として、また久しぶりの再会の機会としても、是非おでかけくださいますよう、お待ちしております。

63 回 CWAJ 版画展 ハンズ・オン・アート
コーディネーター、岡(おか)マリ子、石井(いしい)ふみ子

★6. 編集後記

梅雨のころに、この編集後記を書いております。鬱陶しい雨にはうんざりですが、公園や郊外の山寺に咲く紫陽花や菖蒲・あやめの花を見るところが清められます。どんな事件にもどんな災害にもどんな運命のときにも、人は美しいものに触れるところが和み、生きる力をもらいます。そしてひまわりの咲く夏を思い、頑張ろうという気持ちになりますよね。

今回、ページに余裕がありますので、私、Editor 古田映子の紹介をさせていただきます。実は皆様に HOA に来ていただきたいので、恥ずかしいのですが、私自身の芸術を知っていただき、HOA で芸術に触れ、芸術を考える糧にさせていただきたいのです。

私は古都 金沢市の兼六公園の近くで生まれました。生まれたときから絵を描くことが好きで、4歳の時に金沢職人によるこけしの絵を描き、これがユネスコの絵葉書に採用されました。8歳では富山県展に入選、その後もしばしばコンクールに挑戦、70歳を過ぎた今まで文部大臣賞、サンケイ新聞社賞など20数個のコンクール受賞歴があります。成人してからもコンクールだけを目指したのは、子育てもありましたが、それ以上に、主人と私の両親4人の35年にも及ぶ長い間の看病や介護のために、お付き合いや手伝いが要求される公募団体に属する余裕がなかったからです。絵の発表の場として、応募したら審査をする専門家の目に触れて、私は結果だけを待てばよいというコンクールは、時間の取れない私には最適でした。絵は看病や介護から手が離れた夜中でも描けましたし。そして、本来辛い看病や看護の日々なのに、自分の感情や感性を画面に載せ表現することが出来ました。辛いことや苦しいことが黒い色、灰色でキャンバスに載せられ、明るい白となり、そのうちに色とりどりの光り輝く宝石の色となって、一つの訴えかける表象となっていく様は、マジック!!!これが芸術のなせる業でしょうか?また描きたいことを考えるということで、自分だけの世界を自分の中に持つことができるのです。わかりますか?自分の周りの現実の世界、幸せもありますが、災害や事件の絶えない世界ともう一つ、自分が作り上げた、自分だけの世界、抽象的ですが、透明な感性の世界が自分の中に存在するのです。その自分の世界を大事にして、育てていく楽しみがあります。これも芸術のなせる業でしょうか?私には、長い間4人の両親の看病や介護が悔いなく最後まで出来たことは、苦労もありましたが幸せでした。4人の両親は、今は天国で私の次の絵を楽しみにしていると思います。今回は恥ずかしいと思いましたが、私自身の紹介で芸術の話もしましたが、人、それぞれ芸術の在り方、喜び方、接し方が違います。でも言えることは、人間には芸術が有意義だということです。どうぞ皆様 HOA に来て、立体コピーに触れて、版画を鑑賞し、芸術に触れて、芸術とは何かを考えてみませんか?

これからも楽しい Newsletter をお届けしたいと思いますので、どうぞ応援をよろしく願いいたします。

Newsletter Editor 古田映子 (古田えいこ)

CWAJ の HP は、下記のとおりです。Newsletter でお知らせする企画も詳しく載っておりますので、ご覧ください。 <http://www.cwaj.org/>
ニュースレターに関する皆さまのご感想、ご意見、ご要望なども、ぜひお聞かせください!

パソコンをご利用の方で、メールでのニュースレターの受け取りをご希望の方も、下記にご連絡下さい。

(連絡先) VolunteersVI@cwaj.org

Newsletter Editor (編集担当) : 古田映子 (ふるたえいこ)

Distributor (発送担当) : 本村理子 (もとむらみちこ)

